

地域のなかの障がい者施設へ

～誰もが輝き活躍できる取り組み～



豊新地域活動協議会
会長 川崎敦弘

地域の中にある福祉関連施設



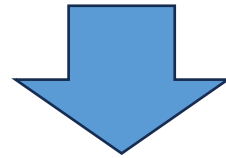
地域住民・障がい者施設がもつ課題

障がい者（施設）に対する地域の課題

- ・ 障がい者への理解度が低い
- ・ 障がい者施設へ近づき難い
- ・ どんな人が居てるか分からない
- ・ 災害時等に助けてほしいだけではないか？

障がい者（施設）の課題

- ・ 地域の一員として地域に溶け込みたい
- ・ 障がい者自身も職員や家族以外とも触れ合いたい
- ・ 地域のイベントに参加しても認知度が上がらない
- ・ 障がい者（施設）に対する偏見を無くしたい



お互いを理解できる共同の場が必要

地域の人も障がい者も一緒に取り組めるイベント

地域若手有志によるミニイベント
＋
地域向け障がい者施設内バザー



地域活動協議会・障がい者施設の共同開催 「ふれあいバザール（障がい者施設交流会）」

- | | | |
|--------------|---|-----------------|
| 障がい者施設利用者・職員 | ／ | 地域諸団体・大学生ボランティア |
| ・飲食物、物品の販売 | | ・抽選会（地元企業からの提供） |
| ・舞台発表 | | ・誘導・案内・駐輪整理 |
| ・製作指導 | | ・バザー |
| ・ポスター・看板当作成 | | ・司会、音響 |

春の地域まつりの位置付けへ



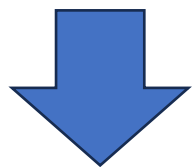
障がい者団体とのさらなる連携へ

東淀川区自立支援協議会主催「**みんなで和っしょい**」

- ・ コロナ禍以降、閉鎖空間でのイベント実施が困難
- ・ 地域住民にも知り、入ってきてもらいたい
- ・ ふれあいバザールの成功

町会主催「**多幸公園まつり**」

- ・ 障がい者施設を含む近隣諸団体参加のイベント
- ・ 単一町会で人員面、財政面で実施継続難



「**多幸公園まつりdeみんなで和っしょい**」

秋の地域まつりの位置付けへ



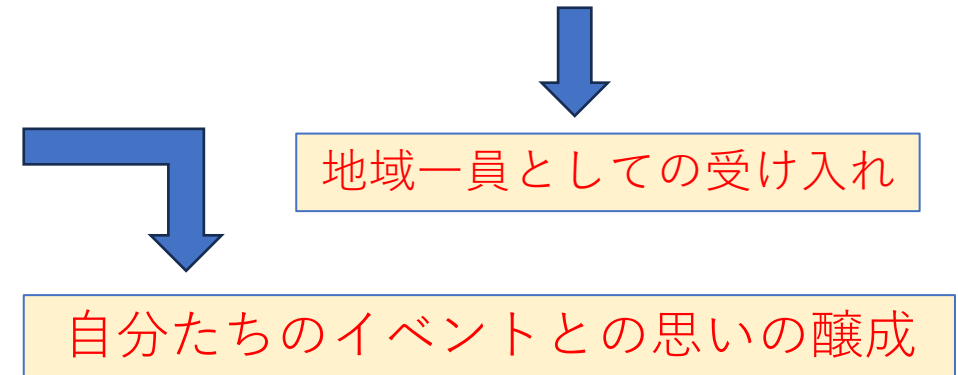
障がい者（施設）・近隣住民の心境の変化

障がい者（施設）に対する変化

- ・公園で遊んでいる児童らが施設のトイレを利用するようになった
- ・施設内の桜を観させて欲しい、と年配の方々が来られるようになった
- ・散歩している障がい者（利用者）の方に挨拶や声をかける住民が増えた
- ・職員・利用者と製作販売しているクッキー・パン等を購入してくれる人が増えた
- ・無農薬で育てている野菜を購入してくれる人が増えた
- ・イベントに参加を希望する団体が増えた

障がい者（施設）の変化

- ・イベント検討段階から利用者も入って議論
- ・地域住民の顔を覚え自ら挨拶するようになった
- ・次のイベントに向けて積極的になった



地域理念 「誰もが健康で安心して暮らせるまち、明るい楽しいまち豊新」へ